

## 【個人調査】

本人への個人調査については、就業状況及び職業生活に対する意識を把握するため、離転職状況、職場への満足度等に関して、事業所調査で把握した事業所に雇用されている障害者を対象に実施した。調査は、障害種別によりそれぞれ異なった調査票で実施した。(今回の調査において、初めて精神障害者の個人調査を行った。)

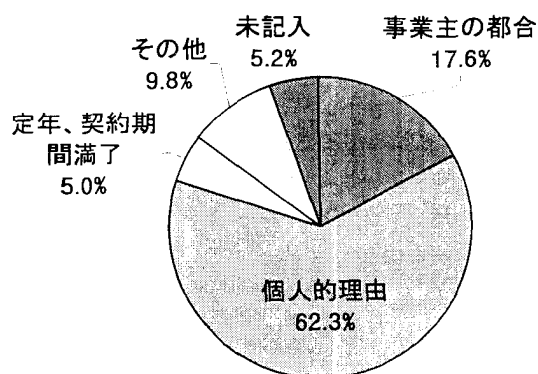
### 1 身体障害者

#### (1) 離転職について

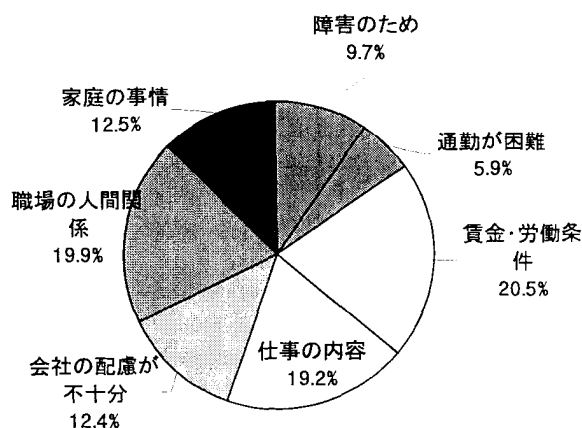
常用労働身体障害者のうち離転職経験のある者は34.1%を占めており、平均転職回数は、2.1回である。

また、転職経験者が現在の勤め先に転職する直前の職場を離職した理由は、「個人的理由」が62.3%と最も多く、次いで「事業主の都合」が17.6%となっている。「個人的理由」の内訳としては、「賃金・労働条件」が20.5%で最も高く、次いで「職場の人間関係」が19.9%となっている。(図24)

図24 離職の理由



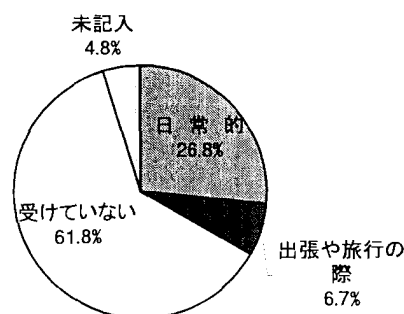
「個人的理由」の内訳



#### (2) 職場での同僚からの援助

職場での同僚からの援助について、「障害があるための援助は受けていない」が61.8%、「日常的に援助を受けている」が26.8%となっている。(図25)

図25 同僚からの援助

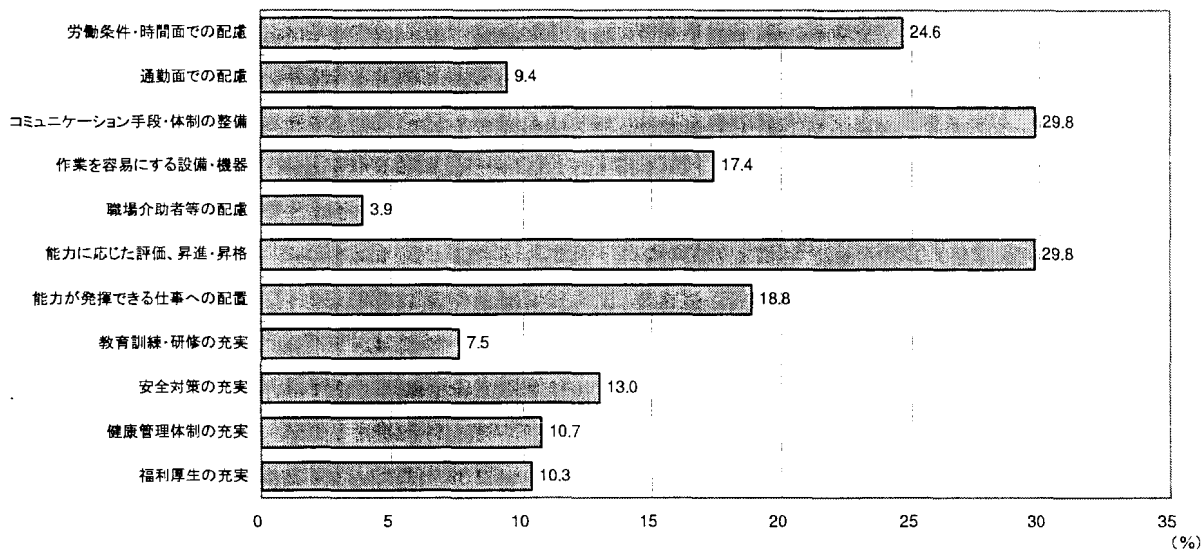


### (3) 仕事を続けていく上で改善等が必要な事項

現在の会社で仕事を続けていく上で何らかの改善・充実・整備が必要とした者は、全体の40.0%となった。

改善が必要な事項として最も多かった事項は、「能力に応じた評価、昇進・昇格」と「コミュニケーション手段・体制の整備」で29.8%、次いで「労働条件・時間面での配慮」で24.6%となっている。(図26)

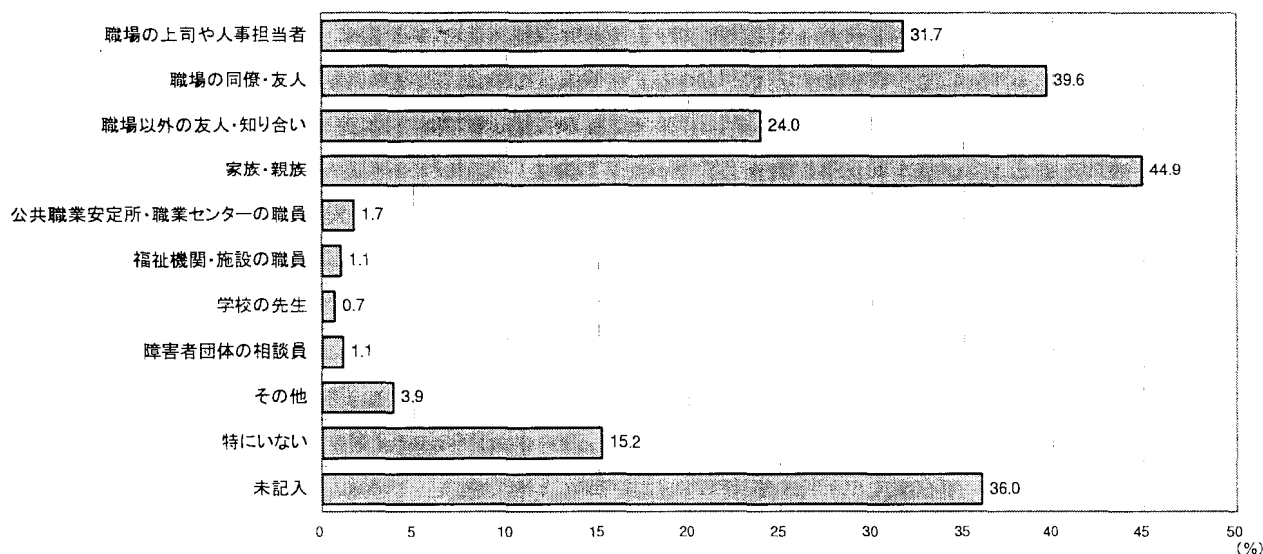
図26 改善等が必要な事項(複数回答:2つまで)



### (4) 困ったときの相談相手

仕事や職場に関して悩みや不安を抱いたときの相談相手として最も多いのが、「家族・親族」で44.9%、次いで「職場の同僚・友人」で39.6%となっている。(図27)

図27 困ったときの相談相手(複数回答:2つまで)



(5) 将来に対する不安について

将来に不安があるとした者は71.2%である。不安の項目として高いものは、「老後の生活維持」が62.3%、次いで「仕事が続けられるかどうか」が60.7%となっている。

(図28)

図28 将来に対する不安(複数回答)

